

25年度 医学部定員増(続報) 増員される入試方式はこれだ!

国公立大は前期の増員が多数派、岩手医科大では編入学枠拡大も

旺文社 教育情報センター 25年1月

平成25年度で6年連続となる医学部医学科(以下、医学部)の入学定員(以下、定員)の増加につき、24年12月に国公立17大学から計50人の申請が出され、同月末に全て認可された。これで医学部を設置している79大学の定員の合計は、9,041人の過去最多となった。

12月末現在、定員増を行った各医学部の具体的な増員内容が全て明らかになった。ここでは「どの入試方式が何人増えるのか」を一覧にまとめて紹介する。

今回の定員増は22~24年度と同様、文部科学省により、①地域医療への従事を条件とした奨学金、選抜枠の設定(地域枠)、②研究医養成(研究医枠)、③歯学部定員振替(歯学部振替枠)、の3つの枠が用意され、各大学はそれぞれの目的に応じて申請、認可を受けている。①は入試の段階で地域枠を設定する大学と、入学してから希望者を募って選考・選抜する大学がある。②③は入試に特別な選抜枠が用意されるわけではなく、いずれかの入試方式にその分の募集人員が増加される。なお、今回の定員増では、①が12大学39人増、②が5大学9人増、③は1大学2人増だった。

次ページに定員増を行う医学部について、増加数とその内訳(上記①~③)、地域枠の内訳(どの都道府県で何人募集か)、研究医養成の連携先の大学を示した。また、認可前に各大学から公表された募集要項には、定員増以前の募集人員が記載されているので、今回の定員増によってどの入試方式の募集人員が変更されたかを太字で示した(「募集要項の段階→定員増の後」で比較。一部、予定を含む)。さらに、定員増を行わなかった医学部についても、24年と比べて募集人員の変更がある場合は「24年→25年」で示した。

定員増を行った医学部のうち、国公立大では8大学が前期日程(以下、前期)で増員。最も規模が大きいのは東北大-医(医)の前期10人増で、福島県立医科大-医では前期の中で地域枠を「15人→20人」に拡大。また、信州大-医(医)、神戸大-医(医)ではセンター試験を課す地域枠推薦を増員した。一方、私立大では6大学とも一般入試を増員したが、岩手医科大では歯学部の定員減に伴い、学士編入学枠も「5人→7人」に拡大した。

なお、筑波大-医学類では、募集要項段階における変更もあわせて24年と比較する必要がある。今回の定員増(2人増)で前期を63人→65人に増加したが、すでに募集要項の段階で24年に比べ60人→63人に増やしていたので、24年との比較でいえば、前期日程は60人→65人で5人増えた勘定になる。

* * * * *

最終的に出願校を固めた受験生は多いだろうが、医学部の場合は数人程度の増加でも大きなチャンスとなりうるし、奨学金制度のある地域枠の増加も経済面で不安のある受験生には朗報だ。冷静に判断したうえで、医学部合格をつかんでほしい。

©2013 旺文社 教育情報センター

◆平成25年度の医学部医学科の定員増と募集人員の変更

大学-学部(学科)	25年の定員増 (編入学含む)	定員増の内訳			備考①地域枠の内訳／②研究医養成の連携先／③歯学部 の定員減／25年入試の募集人員の変更<太字は今回の定員 増による変更(一部、予定を含む)>、など
		①地域枠	②研究医 養成	③歯学部 から振替	
弘前大-医(医)	125人→127人	2人			①青森県2人／前期65人→67人(青森県定着枠15人→17人)
東北大-医(医)	125人→135人	10人			①宮城県10人／前期110人→120人
筑波大-医学類	115人→117人	2人			①茨城県2人／前期60人→63人→65人、後期廃止、地域枠推薦9人→11人
千葉大-医	120人→122人		2人		②東京大・群馬大・山梨大と連携／前期95人→97人
東京医科歯科大-医 (医)	105人→106人		1人		②日本医科大と連携／前期81人→82人
新潟大-医(医)	125人→127人	2人			①新潟県2人／前期85人→87人(地域枠2人を新設)
金沢大-医学類	117人(変更なし)				前期80人→85人、推薦一般枠20人→15人
信州大-医(医)	115人→120人	5人			①長野県5人／セ試験す推薦15人→20人(地域枠)
神戸大-医(医)	113人→115人	2人			①兵庫県2人／地域特別枠推薦(セ試験す)8人→10人
広島大-医(医)	117人→120人	3人			①広島県3人／後期22人→25人(ふるさと枠広島県コース3人を新設)
香川大-医(医)	113人→114人	1人			①香川県1人／前期58人→59人(地域医療推進枠<香川県枠>6人→7人)
佐賀大-医(医)	106人(変更なし)				後期20人→10人、セ試験免除推薦33人→セ試験す推薦44人
◇札幌医科大-医	110人(変更なし)				前期75人を「一般枠40人・北海道医療枠35人」に分割
◇福島県立医科大-医	125人→130人	5人			①福島県5人／前期62人→67人(地域枠15人→20人)
◇名古屋市立大-医	95人(変更なし)				前期80人→70人、後期廃止、セ試験す推薦(20人)を新規実施
◇奈良県立医科大-医 (医)	115人(変更なし)				前期65人→22人、後期20人→53人、地域枠推薦15人→25人
☆岩手医科大-医	125人→130人	3人		2人	①岩手県3人／③歯学部75人→73人／一般入試85人→88人、学士 編入学試験5人→7人
☆獨協医科大-医	118人→120人	2人			①栃木県2人／栃木県地域枠入試8人→10人(一般入試またはセ試 利用入試)
☆埼玉医科大-医	120人→121人		1人		②慶應義塾大・女子栄養大と連携／一般入試(前期、後期、セ試利 用)合わせて1人増(110人→111人)
☆北里大-医	117人→119人	2人			①茨城県2人／一般入試87人→89人(茨城県地域枠2人を新設)
☆順天堂大-医	121人→124人		3人		②新潟大と連携／一般、一般・セ試験併用、セ試験利用の3方式の中 から入試結果により3人増
☆東海大-医	113人(変更なし)				一般A方式63人→60人、セ試験利用入試(3人:神奈川県地域枠)を新 規実施
☆愛知医科大-医	110人(変更なし)				セ試験利用入試10人→15人、推薦依頼校制15人→10人
☆関西医科大-医	110人→112人		2人		②奈良県立医科大・大阪医科大と連携／一般枠2人増(一般入試<一 般枠>85人→87人の予定)
☆兵庫医科大-医	110人(変更なし)				一般入試80人→75人、セ試験利用入試10人→15人

(注1)◇は公立、☆は私立。定員増は原則として編入学定員を含む。

(注2)備考欄のうち、①は地域枠の連携先の都道府県、②は研究医養成の連携先の大学等を示す。

(注3)備考欄中、25年入試の募集人員の変更については、セ試験=センター試験、(以下、国公立大について)セ試験免除=センター試験を課さない推薦・AO、セ試験す=センター試験を課す推薦・AO、前期=前期日程、後期=後期日程、の略。